

02
行 額紫陽花

額紫陽花

の人事案4件も同意した

6月24日の南相馬市議会本会議では再「核兵器廃絶平和都市宣言」と同時に、下記のような「**北朝鮮核実験抗議**」が決議されました。

北朝鮮の核実験強行に対する抗議決議

北朝鮮は2009年5月25日、2回目の核実験を強行した。これは明らかに国連決議や六者会合共同声明、日朝平壤宣言に反するものである。平和と安全を希求する我が国のみならず、北東アジア及び国際社会に対する重大な脅威であり、断じて容認できるものではない。また、米国大統領が世界から核兵器を廃絶することを訴えている中で、核兵器廃絶の国際的機運をも踏みにじるものである。

南相馬市は、「核兵器廃絶平和都市宣言」を決議し、唯一の被爆国民としての核兵器の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しさをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎のあの惨禍を繰り返してはならないと核兵器廃絶を世界の人々に訴え、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を住民生活に活かし、子々孫々に継承することを決意した。

今回の北朝鮮の核実験の強行は、住民生活の平和と安全を脅かし、重大な不安を与えるものである。よって、南相馬市議会は、これに強く抗議し、核実験及び核兵器に関わる一切の開発を今後は絶対に行わないことを強く求める。

日本国政府においては、北朝鮮に対して核兵器開発の中止と核の放棄を求めるよう国際社会と協調して断固たる措置をとるとともに、国際的な協議の場で解決していくことを強く求める。さらに、国民、市民の不安を払拭するため、環境面への影響の有無を十分調査し、情報提供するなど適切な対策を講ずるよう求める。

以上決議する。

平成21年6月24日

福島県南相馬市議会

サイレンと同時に 黙祷を！

8月6日 8時15分

(広島原爆投下の時刻)

9日 11時2分

(長崎原爆投下の時刻)

15日 正午(終戦の日)

南相馬市では毎年、上記の3日に慰霊のサイレンを鳴らします。40年前の市民団体「原町憲法を守る会」の働きかけから始まりました。どこでも、静かに心をこめて鎮魂の黙祷を！

核兵器廃絶をめざす映画

『GATE(ゲート)』

<104分> 出演：マティン・シーン 日本語ナレーション：松嶋菜々子 監督：マット・テイラー
(世界核兵器解体基金代表)

主催：グローバル・イン・原町
9月下旬、原町区・朝日座で上映の予定です！

日本で世界で拡がる、核兵器廃絶の訴え <新聞記事より>

○「日本は原子力の平和利用と核不拡散を両立しているモデルともいえるべき国だ。その経験を世界のために役立てていきたい」「(オバマの)核のない安全な世界を、という訴えは響いたが、まだ言葉に過ぎない。これを実績にするのが私たちの役目です」

国際原子力機関(IAEA)事務局長 **天野之弥** さん (「核の番人」として7月2日当選)



○「日本政府は「国民は戦争の犠牲を等しく受忍すべきだ」という戦争被害受忍論を盾に、被爆者に国家補償をしていません。国の戦争責任を追及し、補償を求める被爆者の運動は、国民が戦争を拒否する権利を打ち立てようとするものなのです」九州大院准教授 **直野章子** さん (6月27日付『朝日』)



○「「原爆投下の責任を」と言う米国人はすぐパールハーバーを持ち出して反論する。だがあれは軍事施設への攻撃。広島、長崎では老人から赤ん坊まで何十万人も殺されたんだ。日本の現状が心配だ。核実験をした北朝鮮は愚かだが、政治家が「先制攻撃すべきだ」とおるのは危ない。戦争への流れは、気がつけば大河になっている」漫画家 **中沢啓治** さん (6月24日付『朝日』。自らの被爆体験マンガ『はだしのゲン』の作者)

○「被爆者は平均年齢が75歳を超えており、一刻も早い核廃絶の実現を望んでいる。2020年までに核廃絶を実現させるべきだ」広島市長 **秋葉忠利** さん (6月21日、モスクワでの「核不拡散・核軍縮国際委員会」にて)

○「オバマ大統領は被差別経験を持つ黒人であり、大衆の出身です。核廃絶の決意は、駆け引き材料ではなく、生い立ちに根ざした人権感覚だと信じています。為政者がまず、核兵器の使用は最悪の人権侵害だと理解すること。それが「核を二度と使ってはならない」という認識を全人類が共有する一歩だと思います」被爆医師 **肥田舜太郎** さん 92歳 (6月25日付『朝日』)



「オバマさん、広島に来てください」 三宅一生さん、7歳の被爆体験も初公表

○「7歳の時広島で被爆し、赤い閃光を目撃。黒い雲があがり人々が逃げまどう姿が今もまぶたに焼き付いている。母親は被爆の影響で、3年もたたないで亡くなった。レッテルを張られるのを恐れ、広島についての質問も避けてきた。オバマ氏が核廃絶に言及したことで、閃光を経験した一人として発言すべきと考えた。オバマ大統領が広島を訪れれば核のない世界へのシンボリックな第一歩になる」

……世界的デザイナー **三宅一生** さん 71歳 (7月16日付『毎日新聞・朝日新聞』)